

事例番号:270157

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

1 回経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 18 週 一絨毛膜二羊膜双胎と診断(本児は第 2 子)

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 35 週 6 日 妊婦健診のため当該分娩機関受診

胎児心拍数陣痛図にて変動一過性徐脈あり、超音波断層法にてⅡ児臍帯血流低下、羊水過少あり、帝王切開目的にて入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 35 週 6 日

入院後- 双胎、胎児機能不全にて緊急帝王切開決定

17:50 手術室入室

18:26 第 1 子(妊娠中のⅠ児)娩出、頭位

18:27 第 2 子(妊娠中のⅡ児)娩出、複臀位

胎児付属物所見 臍帯巻絡なし、羊水ほとんどなし

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:35 週 6 日

(2) 出生時体重:1810g

(3) 臍帯動脈血ガス分析値:pH 7.193、PCO<sub>2</sub> 66.6mmHg、PO<sub>2</sub> 3.9mmHg、

HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 24.6mmol/L、BE -5mmol/L、血糖 34mg/dL、

ヘモグロビン 15.3g/dL、ヘマトクリット 47.0%

- (4) アプガースコア: 生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点
- (5) 新生児蘇生: 実施せず
- (6) 診断等: 早産、低出生体重児、低血糖、新生児一過性多呼吸
- (7) 頭部画像所見: 生後 24 日 頭部 MRI で両側側脳室周囲白質軟化症と診断

## 6) 診療体制等に関する情報

- (1) 診療区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師: 産科医 3 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名  
看護スタッフ: 助産師 1 名、看護師 2 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、脳虚血による脳室周囲白質軟化症 (PVL) であると考えられる。
- (2) PVL 発症の原因は、一絨毛膜二羊膜双胎の胎盤内の血管吻合を介した血流不均衡によるⅡ児の脳虚血である可能性が高い。
- (3) PVL 発症の原因に難治性の低血糖が影響した可能性も否定できない。
- (4) 脳虚血の発症時期は特定できない。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価

### 1) 妊娠経過

- (1) 当該分娩機関における妊婦健診は一般的である。
- (2) 妊娠 25 週～27 週に一絨毛膜二羊膜双胎管理を目的として入院としたことは選択肢の一つである。

### 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 35 週 6 日に一絨毛膜二羊膜双胎Ⅱ児の羊水過少、胎児発育不全、臍帯動脈血流途絶、変動一過性徐脈を適応として緊急帝王切開術を行ったことは適確である。
- (2) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。
- (3) 胎盤病理組織学検査を行ったことは適確である。

### 3) 新生児経過

低血糖の管理を含め、新生児管理に関しては一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

一絨毛膜二羊膜双胎における脳性麻痺発症の原因究明と予防に対する研究を強化することが望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。